

県道 42 号 (藤沢座間厚木)【第Ⅱ期区間】道路整備事業

1 事業の目的

本路線は、「都市計画道路 座間荻野線」として、厚木市域の東西方向における広域ネットワーク形成や、厚木市街の交通渋滞緩和を図ることを目的とした主要幹線道路（4車線）です。

事業区間は、既に供用（完成）している中津川大橋の西側に続き、「市道妻田三田幹線から県道 63 号までの延長約 1,170m」です。

平成 22 年（2010 年）より事業に着手しており、現在、高架工区の橋梁工事や、平面工区の道路整備工事を進めているところです。

また、平面工区には、「埋蔵文化財包蔵地※」が分布しており、埋蔵文化財調査を行っています
が、調査を終えた区間から順次、工事を進めています。

※その土地に、遺跡等の文化財が埋蔵されている場所のこと。「文化財保護法」では、土木工事等で
現状のまま保存できない場合は、発掘調査を行い、記録保存することとなっています。

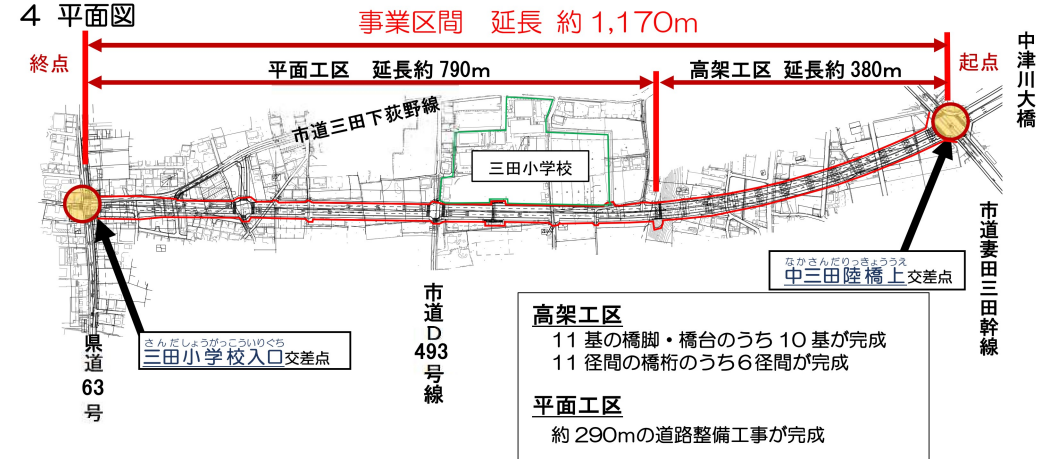
2 事業の概要

- 事業箇所：厚木市三田 ～ 下荻野 地内 【位置図・平面図参照】
- 事業延長：約 1,170m【平面工区 約 790m、高架工区 約 380m】
- 計画幅員：W=22m（標準部）【横断面図参照】
- 供用目標：令和 9 年度末（2027 年度末）

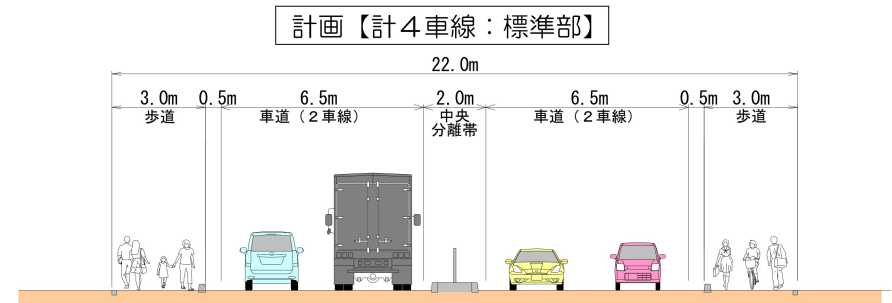
3 位置図



4 平面図



5 横断面図



6 現況写真

